



うきは市

UKIHA CITY



うきは市は九州一の大河「筑後川」と「耳納連山」に囲まれた水とみどりに恵まれた環境から、古くから農業が盛んに行われております。

地形構造は、筑後川の南に広がる「平坦部」、平坦部と山間部の間にある「山麓部」、耳納連山に属する「山間部」に区分され、平坦部は肥沃な水田地帯が広がり、山麓部には果樹地帯が形成され、山間部は棚田などを含む森林となっています。

耳納連山の麓では、複合扇状地が成形され豊かな土壌や地下水が生まれ、耳納連山が生み出す絶妙な気温やそよ風等をうきは市の恵まれた「7大自然要素（地形、気温、土壌、風、水、雨、地理）」と捉えています。これらの自然環境は、フランスのワイン産地ボルドーやアルザスとよく似た日本でも非常にめずらしい地質・地形となっており、本市の農業をとりまく環境を「うきはテロワール」と名付け農作物や加工品等のブランディングを行っています。

国内外ではSDGsの取り組みや環境保全への関心が高まっており、持続可能な農業の振興と環境負荷の軽減を目指す取り組みが求められております。

うきは市では、みどりの食料システム戦略を踏まえ、関係団体とともに有機農業者や有機農業の指導者の育成を推進し、環境に配慮した農作物の生産を拡大すること、また、多くの消費者に食べただく機会を増やすこと等に取組み、先人たちが築き守ってきた豊かな自然と食、農を次世代に引き継ぐことを目指し、ここに「オーガニックビレッジ」を宣言します。

令和5年3月16日

うきは市長 高木 典雄